

評価の高かった上位項目					
自己評価等			関係者アンケート等		
No	評価内容	%	No	評価内容	%
1	生徒は、学校での役割(委員会活動・学級活動・掃除など)に責任を持って取り組んでいる。	100%	1	先生の授業は、わかりやすい。	98%
1	生徒は、「いじめ」の被害者になった場合、先生やスクールカウンセラー、子どもと親の相談員などに相談できる。	100%	2	私は、交通ルールを守り、安全に登下校している。	97%
1	生徒は、学年や学級の「誰かがいじめられている」ことを見たり、聞いたりした場合、家族や先生などに相談できる。	100%	2	私は、家で翌日の授業準備を行い、忘れ物をしないように努力している。	97%
1	私は(学校は)、「いじめ」があると生徒から報告があったとき、上司に報告し、その解決のためにいじめた生徒を指導したり、いじめの再発防止のために学年・学級に呼びかけたりしている。	100%	4	私は、クロムブックを積極的に活用して学習に取り組んでいる。	96%
1	私は(学校は)、子ども一人一人を大切にしている。	100%	5	私は、学校のきまり(身だしなみ・持ち物等)を守って生活している。	95%
1	私は(学校は)、子どもの努力した点や向上したところを褒めている。	100%	5	私の学力や努力は、正しく評価されている。	95%
1	私は(学校は)、地震などの災害が発生した場合の避難場所や避難方法を教えている。	100%	5	私は、時と場に応じたあいさつや正しい言葉づかいができる。	95%
1	各種たより(学校・学年・学級・保健・給食)等によって、学校の様子を伝えている。	100%	6	先生は、努力した点や向上したところを褒めてくれる。	94%
1	私は(学校は)、子どもの事故防止や登下校指導を含め、安全教育に努めている。	100%	6	先生は、私を理解し、指導してくれている。	94%
1	私は、保護者に対して誠意をもって対応している。	100%	6	私は、食後に歯磨きをするなど、むし歯予防に心がけている。	94%

評価の低かった下位項目					
自己評価等			関係者アンケート等		
No	評価内容	%	No	評価内容	%
1	学校に設置されている「いじめの相談窓口を知っている。」	66%	1	子どもは、読書をする習慣が身についている。	42%
2	子どもは、食べることの大切さを理解し、好き嫌いなく食事ができる。	67%	2	子どもは、クロムブックを積極的に活用して学習に取り組んでいる。	56%
3	子どもは、毎日朝食を食べている。	75%	3	子どもは、学習の基礎・基本がしっかり身についている。	64%
4	子どもは、読書をする習慣が身に付いている。	83%	4	子どもの学力は、向上している。(学力=①基礎的な知識・技能、②それらを使って課題を解決するための思考力・判断力・表現力、③主体的に学習に取り組む態度)	66%

前年度より評価が上昇した上位項目					
自己評価等			関係者アンケート等		
No	評価内容	%	No	評価内容	%
1	子どもは、食後に歯磨きをするなど、むし歯予防に心がけている。	91% (41%)	1	私の学力は、向上している。(学力=①基礎的な知識・技能、②それらを使って課題を解決するための思考力・判断力・表現力、③主体的に学習に取り組む態度)	93% (13%)
2	子どもは、交通ルールを守り、安全に登下校している。	92% (12%)	2	子どもは、家庭学習の習慣が身についている。	79% (11%)
3	子どもは、毎日朝食を食べている。	75% (10%)	3	子どもは、クロムブックを積極的に活用して学習に取り組んでいる。	56% (9%)
4	子どもは、クロムブックを積極的に活用して学習に取り組んでいる。	84% (9%)	4	先生は、「いじめ」アンケート調査を行い、学年・学級にいじめ防止を呼びかけたりしている。	93% (7%)

関係者評価概要

- ・「学習指導」に関する評価が58%と低く、前年比9ポイント低下している。特に「読書習慣」「ICT活用」が低い傾向が前年と同様である。
- ・教職員に対する保護者からの見方が厳しくなっている。生徒一人一人に対して、丁寧な対応が要求されている。

学校評価概要(本年度の評価と今後の改善点)

- ・家庭における子どもの読書習慣をどのように身に付けさせられるかが課題の一つである。家庭学習以外の時間が携帯電話の使用時間になっている状況を改善できるかが、ポイントになる。
- ・クロムブックの活用が学校だけで止まっている状況を改善するために、家庭でも学習に活用することで、保護者からの学習指導に対する理解が深まることが考えられる。